

「10年後のわたし」は・・・



6年生の図画工作に、紙粘土で「10年後のわたし」を創作する学習があります。

作品の芯に針金を入れていることもあり、みな大胆な動きを表現しています。そして、6年生53人の夢を主張しています。

廊下に飾られた個性豊かな将来像を見る度に、キャリア教育が重要だと感じます。

7月10日発行のPTA新聞「やまなみ」でも書かせていただきましたが、夢や目標の実現のために目の前の学習や生活が大事であること。今日の授業や家庭学習が将来に続いていることを、子どもたちが意識することが必要だと思います。

「10年後のわたし」を創作する学習はキャリア教育の一環でもあると思います。

このように学年ごとに、発達段階に応じたキャリア教育をしていきたいと思っています。

まずは、ご家庭におきましては、「ホップ・ステップ・ジャンプ」などをきっかけにして、子どもたちと将来の夢や目標について話題にしていただけるとありがたいです。

